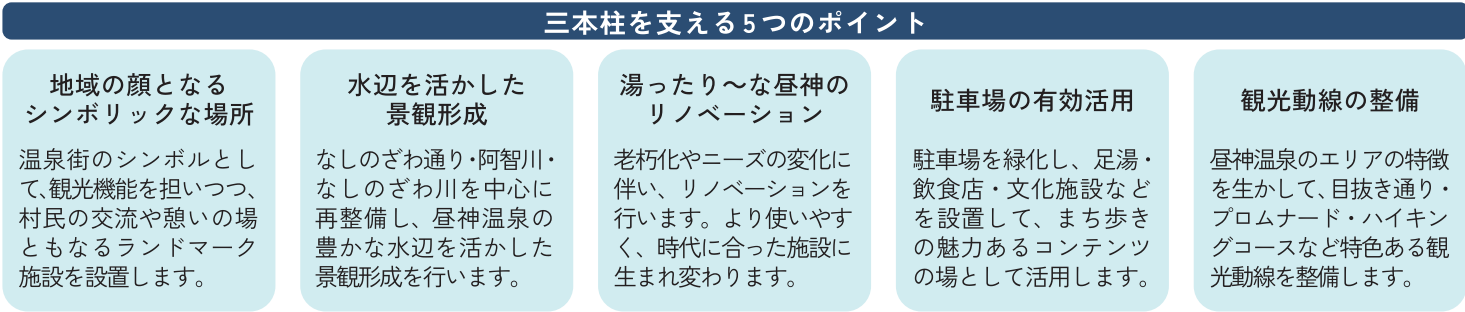
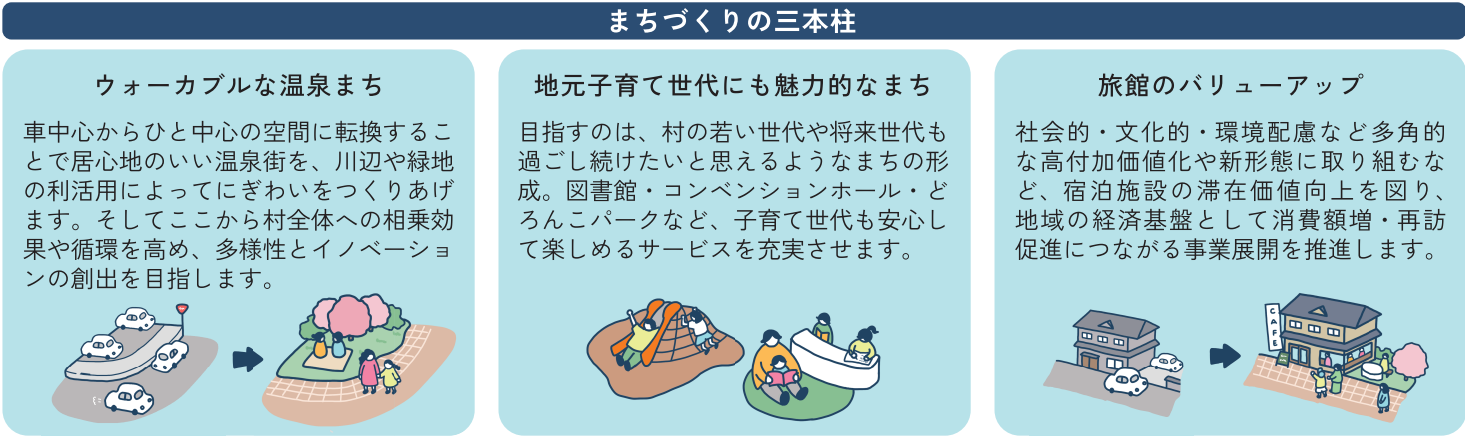


昼神から、地元と自然が共に輝き続けるために

昼神温泉は、これから訪れる大胆でポジティブな「リニア新時代」を機会に、地域と自然の持続可能なまちづくりから、もう一歩先の未来を目指します。そのために、次の「まちづくりの三本柱」を掲げ、社会変化に伴う課題等に包括的対応をすることで、来街者の満足、村民の暮らしや生業の充実、観光分野を超えた地域の好循環など、村と周辺の長期的価値を創造します。



7つの散策エリア

昼神温泉の各地の特徴を分析することにより、7つのエリアとしてのまとまりが浮かび上がってきました。それぞれのエリアがもつ特徴を活かした、新しい昼神温泉のあり方を提案します。



- 自然・散策エリア

温泉街を囲む山の中をトレッキングできる、自然豊かな環境の中に身を置けるエリア。
- 旅館街・散策エリア

趣のある旅館が立ち並び、その間の路地を散策し温泉街の風情を楽しめるエリア。
- 憩いエリア

建物が低密度で緑も多い、広がりやゆりのあるエリア。

にぎわいエリア

温泉街の中心に位置し、飲食店・ショップ・観光案内所などが立ち並びます。温泉街の顔ともなるにぎわいを創出するエリア。

川沿いプロムナードエリア

温泉街の中心を流れる阿智川沿いにプロムナードを整備し、まち歩きやそぞろ歩きを誘引するエリア。様々なアクティビティの拠り所となります。

文化・スポーツエリア

温泉街の北西に位置し、文化施設やスポーツ施設などが設けられる、まち歩きの目的地となるエリア。

遊び・体験エリア

どろんこパーク・グランピング施設・レストランなど、子連れのファミリーなどを中心に、遊んだり、昼神地域の豊かな環境を楽しめたりするエリア。

そして世界のHIRUGAMIへ

阿智村は「日本一の星空」の村として認知されるようになってきました。ここから発展して、昼神温泉は世界に広く認知され、誰もが訪れたいと思う世界水準の温泉まちを目指します。その一環として、国連世界観光機関が形成する「持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)」加入を目指していきます。

2023年11月23日 初版第1版発行
発行者 阿智村役場
監修 昼神温泉リニア新時代戦略等推進委員会
制作 株式会社JTB総合研究所
デザイン 米澤隆建築設計事務所+大同大学米澤隆研究室+天野百花

世界中から選ばれる、未来の昼神温泉のために



出湯から50年

この地に温泉が湧出して以降、昼神温泉は南信州を代表する観光地となりました。

今まさに直面する少子・超高齢社会、国際化、情報化の中で、私たちはこの変化を前向きに捉え、動き出さなければなりません。

今回、出湯 50 周年にあたり「昼神温泉リニア新時代構想」(令和 2 年 10 月策定)に則った新たなデザインイメージができあがりました。

新時代には国内のみならず「世界中から選ばれる昼神温泉」を創ることが必要です。

今こそ心躍る未来のために、村民をはじめ、関係するすべての方々で本構想を共有し、ONE TEAM による取り組みをはじめましょう。

昼神温泉リニア新時代構想

今回の提案はバックキャスト型の計画手法に基づいているため、各関係者にはあらかじめ合意を得ていただくわけではありません。今後、より広範の意見を喚起するために示した大きな考え方となっております。